

News & Information

ソニー教育財団 高校生エンジニア体験 参加校募集（オンライン開催）

ソニーの社員が講師となり 高校生4名1チームで

「エンタテインメントロボット“aibo”」の動きを作るアプリケーションを開発

ソニー教育財団（会長：盛田昌夫）は、高校・高専を対象に実施する第4回「エンジニア体験プログラム」の参加校を募集します（2018年より実施）。本プロジェクトでは4名で1つのチームを作り、自律型エンタテインメントロボット“aibo”（アイボ）のオリジナルの動きを実現するアプリケーションの企画・開発の一連の流れを体験します。指導・助言はソニーグループ株式会社（以下、ソニー）のaibo開発チームが直接行い、全イベントはオンラインで実施されます。



エンタテインメント
ロボット“aibo”
が学校にやってくる！

約1か月間の開発期間中、aiboとアプリケーション開発に必要な環境が無償で提供されます。開発した作品の中で、aiboが私たちの生活に喜びや感動を与えるようなアプリケーションは、ソニーの承認のもと、一般のaiboオーナー様にもご提供させていただく予定です。

aiboにどのような動きをさせてみたいですか？プログラミング・アプリケーション開発や商品企画に興味や関心を持ち、仲間とともに最後までやり遂げる強い気持ちを持つ高校生と、その思いに寄り添い、支えてくださる学校からのご応募をお待ちしています。

※応募校多数の場合は選考となります。

※HTMLやPythonなどの初歩的なコードを理解する生徒の参加が必要です。



2020年度開催時の様子（オンラインでのプレゼンテーション）

開発されたアプリ（一般公開済）



「お利口 aibo」



「おみくじ aibo」

第4回「高校生対象 ソニーのエンジニア体験（aibo）」募集概要

募集期間： 2021年5月13日（木）～6月21日（月）18時受付まで

募集校数： 日本国内の高校・高専より6校

※応募校多数の場合は選考となります。

対象者： 1校あたり1チーム4名と代表の先生1名（生徒参加者総数24名）
※事前課題があります。

開催日： すべてのイベントはオンライン（Microsoft Teams）で実施します。

◆[参加必須] **キックオフ（オリエンテーション、開発手順説明等）**

2021年7月31日（土） 13時00分～15時00分

◆[参加必須] **生徒によるアプリケーション開発期間（約8週間）**

2021年7月31日（土）～2021年9月24日（金）

企画フェーズ・・・第1週

設計フェーズ・・・第2～3週

開発フェーズ・・・第4～6週

デバッグ・まとめフェーズ・・・第7～8週

※各フェーズで、各校でソニー社員への質疑や助言を求める機会を設けます。

◆[参加必須] **プレゼンテーション（成果物の発表、講評）**

2021年9月25日（土） 13時00分～15時00分

※動画とプレゼンテーションスライドでアプリケーションやaiboの動作について説明していただきます。

- 確認事項：**
- ・お申し込みは学校単位となり、「生徒4名で1チーム」の構成です。（参加は1校につき1チームのみ）。
 - ・簡単な事前課題の提出をお願いします。また、チームの中にHTMLやPythonなどの初歩的なコードを理解する生徒を必ず1名以上、含めて下さい。
 - ・学校にaiboを1体と開発環境を貸与します。
 - ・パソコン等のハードウェア、ネットワーク環境をご用意下さい。
 - ・オンライン会議（Microsoft Teams）ができる環境が必要となります。
 - ・手続きやその他の連絡事項は、代表の先生宛にメール等でお知らせします。

体験できること・学べること：

- ・ソニーの最新技術や開発現場などの話を聞くことができる。
- ・ソニーの開発チームと直接対話しながら、各自が責任を持ち、課題解決をしたり、チームで開発を進めたりする一連のプロセスが体感できる。
- ・同年代の参加者がアイデアを発表し合い、ものづくりに対する刺激を得る。
- ・作成したアプリケーションの中でソニーが承認したものは一般公開され、自ら設計したアイデアが、世の中の役に立つことを実感できる。

参加費： 無料

応募方法： 詳しい開催内容、参加条件および応募フォームはこちらをご覧ください。

<https://www.sony-ef.or.jp/monodukuri/highschool.html>

ご応募いただいた学校へは、先生宛にメールで「受領」のご連絡をします。また、締め切り後に、「選考結果」および詳細のご連絡を予定しています。

■ソニー創業者 井深大と教育助成について

ソニーの創業者である井深大は、戦後間もない日本において、科学技術の振興こそが国の発展に繋がると考え、次世代を担う子どもたちへの理科教育に多大な関心を抱いていました。日本初のトランジスタラジオを発売し、会社経営が軌道に乗り始めたのを機に、1959年に「ソニー小学校理科教育振興資金」の贈呈を始めました。ソニーの教育支援活動の始まりです。この事業を継続的に発展させるため、1972年に「財団法人 ソニー教育振興財団」を設立しました。その後、井深大の理念を引き継いだ教育助成活動は対象を中学校にも広げ、子どもたちの感性・創造性・主体性の育成を目指した「ソニー子ども科学教育プログラム」へと発展。60年に亘り、創造的で先進的な取り組みを行う全国の学校、先生方を支援してきました。

一方で、井深大の関心は幼児教育にも広がり、1969年に「財団法人 幼児開発協会」を設立しました。幼児期の豊かな感性と創造性の育成を目指し、2002年から幼稚園・保育所・認定こども園を対象にした「ソニー幼児教育支援プログラム」を開始しました。2011年に「公益財団法人 ソニー教育財団」となり、乳幼児期から中学生までの「科学する心を育てる」こと、「科学が好きな子どもを育てる」ことを柱にした教育助成を行っています。教育助成の他、“自然に学ぶ”をテーマに探究する小・中学生対象の「科学の泉ー子ども夢教室」、親子の絆を育む「“科学する心“を見つけよう フォトコンテスト」など、未来を生きる子どもたちへのさまざまな支援活動を行っています。

<報道関係の問い合わせ先>

公益財団法人 ソニー教育財団 東京都品川区北品川 4-2-1
TEL:03-3442-1005 FAX:03-3442-1035 (担当 原田)